

No. 47

ねじればね

December, 1982

昭和57年12月20日 発行

編集：後藤光男

〒591 堺市百舌鳥西之町1丁目98-2

陵南住宅1号棟116号

電話：(0722)57局7009番

発行：日本甲虫学会

〒658 神戸市東灘区御影山手2丁目19-8

大倉正文方

電話：(078)811局2706番

郵便振替口座 大阪9-39672番

仮製本仁己止与世天(2)

後藤光男

(知)

今年5月24～25日に大阪中之島のロイヤルホテル光琳の間で、富士ゼロックス創立20周年記念フェアが催されて、招待を受けた。コピーに大変興味をもっていたので出掛けてみた。ゼロックスも当初から比べて格段の進歩をし、また機種も年々更新されて大変参考になった。ゼロックスによるコピー縮小については、本誌43号(昭和56年3月20日付)で触れておいたが、逆に拡大できることも知った。詳しい資料はなかったが普通原稿以外にマイクロフィルムを固定倍率の他に、9.4～24倍まで任意の倍率で拡大できる機種も見ることができた。

このフェアでもっとも興味があったのは、「Fuji Xerox バインダー-1」であった。製本機である。金具を使わずに専用の接着テープで背面を接着する「無線とじ」である。バインダーの上部の溝に製本をしたい用紙類をさし入れて、ボタンを押し、テープをセットするだけで、自動的に製本される。仕様は製本の厚さは0.8mmから30mm、長さは210mmから381mmまで、高さは182mmから297mmの範囲内の寸法である。強力な接着力のあるバインダーテープが4色揃っていて、製本の厚さによってバインダーが巾は何種のテープをセットするようにと指示マークが出るようになっていた。厚紙で表紙をつけることもできるが、ただ難点として背面接着なので2頁か4頁ものの製本に限られる点であった。

ラベル印刷のあれこれ追補 (6)

後 藤 光 男

(S)

昨年10月1日から当用漢字が95字ふやされて1945字となり、あわせて人名漢字も54字ふやして166字となった。日本タイプライター社では機種更新を期に、従来の予備・人名活字は200字であったのを535字ふやして735字にした。これで大抵の文書の印書に支障はないが、専用熟語が混じる場合にはバラ売りの補充活字から必要分を求めることができる。

以前から邦文タイプライターを欲しいと思っていたが、派遣先に出入する同社の総代理店の店主から勧められて、ネオライターエース横打用を買い求めた。活字も明朝体の外に細丸ゴシック体も整えてもらった。当初研究誌でも発行する折があればと9ポイントが欲かったが、店主に「見た目は大変小さくて印書も美しいが、一般性でないですよ」との進言で5号活字にした。電動式であるので、印書したい活字の上にポイントマスクを合せ印字キーを軽くおさえるだけで印書ができる。活字はアイウエオ順に配列されているが訓読みなので、馴れるまで活字を探しまわらねばならなかった。辞書のお世話になったこともたびたびで、大変勉強になったと思っている。標本箱の見出し紙は色模造紙で科別に色分けして、ネオライターで印書しているが、大変美しく収納甲虫を探し出すのに便利である。

昆虫関係の印書に使う目的なので、盤面活字と予備・人名活字で事が足りるかどうかが調べて見たが、昆虫用語で約30字必要なことが判ったので追加で買い求めた。ただ「脛・跗・脛」の3字が揃わなかったが、これは別注しなければ入手できず、1字5,000円なのであきらめて、必要があれば合成しようと考えている。

(t)

年末を控えた11月の声を聞くと、百貨店の事務用品売場や街中の文具店の店先に簡易印刷器といわれる「プリントゴッコ」の宣伝販売で振やかになる。もちろん年賀状用の売込みで、事務所で必要なプリントアスター(原紙)のB5版はほとんど店頭から姿を消して、ハガキ大のB6版が幅をきかしている。

各社からいろいろの機種が発売されているが、その印刷の方法はつきのように分けられる。

原稿を専用ランプの発光で専用原紙に焼付けて原版とし、原版の上にインクをのせて手押しする方法と、専用原紙に鉄筆・ボールペン・毛筆等で原紙に書きこみ、これを原版としてインクをのせて手押しするか、または専用ヘラで原版上を擦る方法に2分される。現在店頭で発売されている機種は前者の方式のものに「プリントゴッコ・ピカイチくん」、後者には「はがきっこ・ユニオン押すプリンター・マイプリンター」等がある。また発光式の機種では専用スクリーンを使って写真（カラーよりも白黒の方が好結果が得られる）も印刷できる。

プリントゴッコを使ってデータラベルを印刷してみた。下図の上が原稿で下は印刷したものである。謄写版印刷のように細かいヤスリ版の上でロウ引きの原紙に孔版して、インクをローラーで均一にのぼして原紙の上を転がすのではなく、発光式はインクを塗りつけた原版の上から押さえるため、インクが均一にのらない点もあって不鮮明である。タイプライターで印書して印刷したデータラベルは紙包標本用ぐらいが関の山と感じた。

邦文タイプ

欧文タイプ

6ボ組版

4.5ボ組版

Uenoshiba,
nr. Mozu, SAKAI
OSAKA, 19
Mitsuo Goto leg.

Uenoshiba,
nr. Mozu, SAKAI,
OSAKA, 19
Mitsuo Goto leg.

Takarazuka
Hyogo-Pref.
19
Coll. Mitsuo Goto

Uenoshiba,
nr. Mozu Osaka,
19
Mitsuo Goto leg.
Uenoshiba,
nr. Mozu Osaka,
19
Mitsuo Goto leg.
Uenoshiba,
nr. Mozu Osaka,
19
Mitsuo Goto leg.

4.5ボ凸版

上野 芝
大阪府堺市
19
後藤光男採集



Uenoshiba,
nr. Mozu Osaka,
19
Mitsuo Goto leg.
Uenoshiba,
nr. Mozu Osaka,
19
Mitsuo Goto leg.
Uenoshiba,
nr. Mozu Osaka,
19
Mitsuo Goto leg.

プリントゴッコ

邦文タイプ

欧文タイプ

6ボ組版

4.5ボ組版

Uenoshiba,
nr. Mozu, SAKAI
OSAKA, 19
Mitsuo Goto leg.

Uenoshiba,
nr. Mozu, SAKAI,
OSAKA, 19
Mitsuo Goto leg.

Takarazuka
Hyogo-Pref.
19
Coll. Mitsuo Goto

Uenoshiba,
nr. Mozu Osaka,
19
Mitsuo Goto leg.
Uenoshiba,
nr. Mozu Osaka,
19
Mitsuo Goto leg.
Uenoshiba,
nr. Mozu Osaka,
19
Mitsuo Goto leg.

4.5ボ凸版

上野 芝
大阪府堺市
19
後藤光男採集



Uenoshiba,
nr. Mozu Osaka,
19
Mitsuo Goto leg.
Uenoshiba,
nr. Mozu Osaka,
19
Mitsuo Goto leg.
Uenoshiba,
nr. Mozu Osaka,
19
Mitsuo Goto leg.

新入会員



住所変更



死去 (僅んでご冥福をお祈りいたします)



退会



認定退会



専門家によって永年の経験から割出された寸法による整理用具を用いて、
今年の成果を冬の夜長に楽しませてはいかがでしょうか。

ご照会は後藤にお願いします

甲虫専用の台紙が揃いました。

本誌 35 号で紹介しました甲虫専用台紙に加えて、新企画で作製しました。用紙はハート社製、ハートカード C227 の純白厚手テント紙を使用しています。巾寸法は 20・15・13 耗の 3 種類です。台紙の下部に 1 本線、その 2 耗上に 2 本線を両面印刷（黒刷）しています。この黒線は表裏同一個所の印刷ですので、切断巾によって貼付甲虫の背面と腹面の寸法をほぼ知ることができるのと、針差の際に表裏どちらを使ってもよい利点があります。

1 枚の台紙から、つぎの寸法の小片が切断できます。

	5 耗巾	4 耗巾	3 耗巾	価格（送料は別）
新刷 20・15 耗巾用	22 片	27 片	37 片	いずれも 1 枚について 30 円
旧刷 20・15 耗巾用	20 片	25 片	33 片	” ” 25 円
旧刷 13 耗巾用	20 片	25 片	33 片	1 枚について 20 円

なお、旧刷の横線は表側の印刷だけで裏面は白地です。また旧刷には極厚の台紙も揃えており、価格は上記の旧刷と同一価格となっています。

4.5 ポイント活字印刷セットの取扱いを中止します。

これまで沢山の方々から好評を得ましたデータラベル用（種名用、Host 用にも使われていました。）4.5 ポイント活字は、その後かなりの値上りとなっています。また付属器具も同様で、従来の価格でもってセットを整えるとなりますと、活字の本数をかなり減らさなければなりませんので、価格にかかわらない方のご依頼以外は取扱いを中止いたします。

幸い、これまで溜っていましたがバラ物活字を整理してセットにしましたところ 2 組ができました。付属器具も一応 2 セット分揃えましたので、これまでどおりの完全 2 セットは旧価格で提供できます。ただ活字押器の 2 本は軽合金の鋳型（本誌 4 2 号 7 頁）の 5 段組でなく、志賀昆虫普及社製（本誌 43 号 5 頁）の 4 段組となります。活字押器の価格差額だけアップとなります。

標本用ラベルのご利用はいかがでしょうか

シーズンオフの標本整理には、当学会の使い易いラベルのご利用をおすすめします。全種の原寸見本と価格表は本誌 4 2 号 10 頁に掲載しております。また諸学賢の専用ラベルをご計画の場合がありますれば、見本段階まで作らせていただきます。

第 38 卷（昭和 58 年度）の会費は 4,000 円です

昭和 58 年度は昆虫学評論第 38 巻第 1 号及び第 2 号を発行いたします。第 1 号の発行は 6 月ごろの予定です。従来は発行の直前に会費未納の会員各位にご納入の願状を送っていました。が、郵便料が高くなりましたので発送をとりやめています。同封の郵便振替用紙によりお忘れなくご納入おき下さるようお願いいたします。

会員増加についてご協力のお願い

「昆虫学評論」を第 36 巻から会費 4000 円に値上げさせていただく際に、変則発行の合併号（約 110～120 頁）を廃止し、以前のように年間 2 回の発行並びに各号を若干増ページして値上げに報いる旨のお約束をいたしました。その結果、最近の「昆虫学評論」は年間 150 頁前後（図版を頁数に加えますと 160 頁前後）になり、印刷費の漸騰、2 回の発送による郵送料の増加などで財政情態が非常に悪化しています。

これを解消するには 1 人でも多く会員を増やして収入を増加するか、再度会費の値上げをお願いするしか方法がございません。短期間に再度の値上げは心苦しく、昭和 58 年度は従来どおりの会費 4,000 円でまかなうことにしましたので、お知り合いの同好者に是非とも入会をご勧誘いただきたく存じます。

何とぞ会員増加にご協力下さるようお願いいたします。

— あ と が き —

6 月に発行しました前号では、夏から秋にかけて順調に推移すると予測いたしましたが、完全に外れました。例年の酷暑、熱帯夜に悩まされることもなく、冷風器具も仕舞ったままで一夏が終わりました。ただ 7 月下旬の集中豪雨では各地に甚大な被害がでて、テレビの画面に写し出される被害状況を見て大変お気毒に思いました。拙宅の裏にある川も護岸堤防を水が洗い始めて、あと 1 時間も豪雨が降り続けば下手の新興住宅に侵水の被害がでたと思います。幸い雨も小降りとなってホッとしました。当日は道路冠水の中、阪和線の「上野芝駅」に行ったのですが、高野線ともども不通となって一日のんびりと過しました。私のよく行く大和川の川に接する住宅地は軒並み床上浸水で、2 週間ばかり後に通った時もまだ水濡れの家財が乾いてあって、水の恐さを知りました。河川敷の昆虫達の採集は増水時が一番面白いのですが、これも水量に限度があって、一定量の水位を越えた場合は昆虫どころでなく身の危険を感じて、ただポカーッと水の流れを見て過した経験があります。

新年も目前です。よい正月を迎えられることを希い、1983 年はよりすばらしい年になりますよう祈っています。（51030）